三菱病院情報システム “DIAKARTE（ダイヤカルテ）”

倉岡立郎*
中津佳彦*
伊東十三男**

要　旨

間もなく訪れる21世紀の少子高齢化社会において，一人一人が豊かで快適な生活が送れるように，QOL（Quality of Life）の向上を目指した社会の実現が必要とされている。行政においては医療制度の抜本改革が進められており，医療機関は，従来以上に“患者中心のサービス提供”を指向し，患者に選ばれる開かれた医療機関であることが求められてきた。このような時代の要請にこたえる情報システムが，三菱電機の提案するCo.Solutionのアプリケーション“医療・ウエルネスソリューション”である。

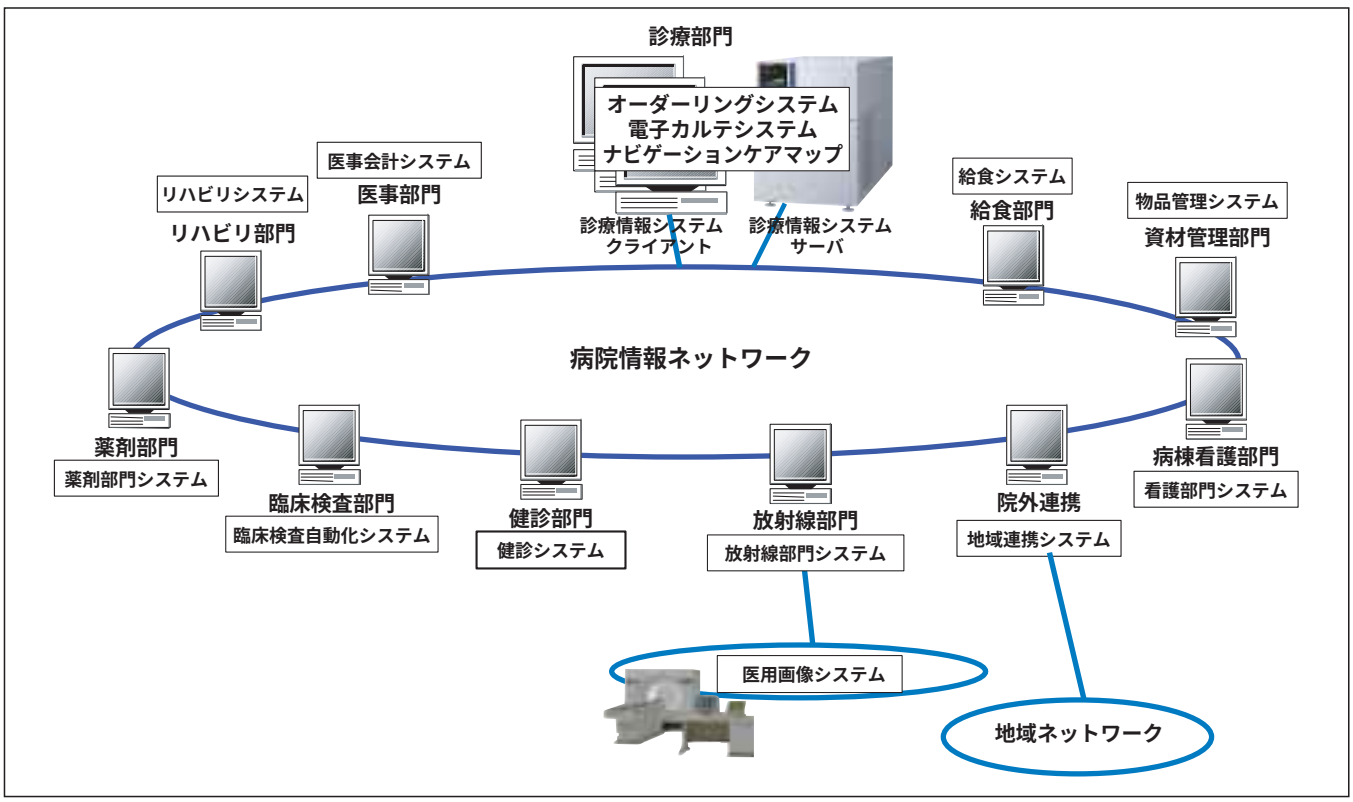
本稿では，その中核となる三菱病院情報システム“DIAKARTE（ダイヤカルテ）”について述べる。

1999年の４月22日，厚生省から「診療録等の電子媒体による保存について」という通達が出され，電子化した医療情報の法的な正当性が認められた。21世紀は，電子カルテの時代である。電子カルテは，患者のニーズにこたえ，病院経営に役立ち，かつ医師を始めとする医療スタッフを支援するものでなければならない。

そのために，三菱電機では，㈱亀田医療情報研究所と技術提携することにより，亀田総合病院での４年間の電子カルテ稼働実績を通じて蓄積された運用ノウハウをシステムに反映するとともに，クリティカルパスの考えを更に発展させたナビゲーションケアマップを盛り込むなど，先進的な病院情報システムを開発した。このシステムでは，

- 医療事務の効率化を目指すオーダーリングシステム
- 診療情報の共有化を目指す電子カルテシステム
- 診療プロセスの共有化を目指すナビゲーションケアマップ

を一体化し，さらに，これらを効果的に運用させる部門システムを含めた病院情報システムのインテグレーションにより，従来のシステムでは実現できない“高度な情報連携”“患者中心のサービス提供”を支援する。



三菱病院情報システム“DIAKARTE”の概念図

オーダーリングシステム，電子カルテシステム，ナビゲーションケアマップを中核とし，医事会計システム，薬剤部門システム，臨床検査自動化システム，病理診断支援システム，看護部門システムなどの部門システムを含めて，三菱病院情報システムDIAKARTEをトータルにインテグレーションする。

*三菱電機㈱情報システム製作所　**㈱亀田医療情報研究所